

グループ討議 課題

テーマ:コンテンツの充実

グループ名 [3E]

2018年度機関リポジトリ新任担当者研修



JPCOAR オープンアクセスリポジトリ推進協会

リポジトリの現状:

研究紀要・学位論文が中心



より良いものにするためには...

コンテンツの充実が必要

⇒ こういったタイプのコンテンツを搭載するか？

- ・ 学術雑誌論文
 - ・ 一般雑誌への寄稿
 - ・ 研究データ
 - ・ プレスリリース 等
-が考えられる

😊どうすれば収集できるか？

コンテンツの公開が機関にとってどういう有用性(可能性)を持っているかという視点で考え、学内へアピールしていく。

・学術雑誌論文

→「OA論文は論文全体の平均よりも引用数が高い。グリーンOA可能なのにしていない論文をOA化すれば、大学ランキング指標の向上につながる可能性がある」ということを学内上層部へアピールし、リポジトリ登録への機運を高める

・一般雑誌への寄稿

→研究によって明らかになった事実や磨かれた見識をオープンにしていくことは、特に人文系の業績・社会貢献につながる

・プレスリリース等

→HPで公開している資料のリンク切れや、「過去のお知らせ」として階層が深くなることによってヒットしにくくなることへの対策となる。学内のHP担当部署へデータ提供を依頼する

・研究データ等

→企業や研究所へのアピールとなり共同研究の可能性が広がる

😊リポジトリを充実させることによる効果 (=目的)

リポジトリによって、誰にどんな内容を届けたいのか。
それに基づいた運用によって、各大学の掲げる目標や建学の精神の実現に近づけていく。

A大学(沖縄県/地域性を礎にする私立大学)

- 誰に→ 沖縄の発展に貢献したい人々に
- どんな内容を届けたいか→ 沖縄の個性を発揮させる研究成果を届けたい

B大学(東海地方/特色ある学部を持つ私立大学)

- 「人間環境学」に関心がある、または「人間環境学」について知らない方へ
- 本学が行っている研究や教育について知ってほしい

C大学(関東地方/私立工業大学)

- 学生・起業家・研究者……科学技術を通じて世の中を発展させたい若者に
- 技術を生かした実例と、技術を生かすための感性の養い方を届けたい

D大学(東北地方/国立総合大学)

- 国内外を問わず多様な分野の優れた研究者に
- 伝統である「研究第一主義」に基づいた、世界最高水準の研究成果を届けたい

コンテンツの充実

各大学が求める
学生
研究者
へのアピールに！

同じ分野で研究・実務を
行うコミュニティへの
貢献や協働が可能に！

オープンアクセスから
オープンサイエンスへ！

リポジトリの
発展で
こんな
効果が！

